

大容量処理を効率的に

振動式ボールミル

回転軸にとりつけてあるアンバランスウエイトを回転させることにより、振動体を上下振幅させ安定した振動が得られます。左右にセットされた粉碎容器内の試料は、ボール（又はロッド）の衝撃力により効率よく微粉碎されます。

特長

1. 粉碎能力が大

衝撃力は、回転式が1Gであるのに対し、振動ミルでは3~16Gの非常に強い力が得られるため、粉碎能力を向上させることができます。

2. ロッドの採用により、粉碎時間を短縮

ボールに代って重量のあるロッドを使用することで衝撃力が大きくなり、粗い試料でも粉碎に要する時間が短くなります。(0.9φタイプ、ステンレス・特殊鋼製のみ)

3. 粉碎試料の投入・排出が容易

容器を上下に回転させることができますので、粉碎試料やボールの投入・排出が簡単であり、容器の持ち運びが不要です。

4. 正確な粉碎時間

デジタルタイマーにより、粉碎時間のセットが任意にでき、正確な時間管理が可能です。

5. 運転音が軽減

スライド式防音カバーを装備しましたので、運転音は静かです。



仕様

型式	試料容量×架数	振動回転数	振幅	タイマー	モーター	寸法(W×D×H)及び重量	粉碎容器・ボール、ロッド材質
TI-700A	0.9φ×2	950r.p.m/50Hz 1,140r.p.m/60Hz	10mm	0-60hour (デジタル表示)	AC200V 3φ 1.5kW	980×1,330×680mm 500kg	特殊鋼、ステンレス(SUS304、440C)、 耐摩耗アルミナ
TI-700B	3.5φ×2				AC200V 3φ 1.5kW		
TI-700C	5.0φ×2				AC200V 3φ 3.7kW		

※ロッドは0.9φ用特殊鋼及びステンレス製にて製作しております。※樹脂製容器も製作可能です。
注) 周波数をご指定下さい。

デザイン一新、安全性を配慮

回転式ボールミル

混合、粉碎などの試料調整に、鉱業、窯業、金属など、広く一般的に用いられています。容器内に投入されたボールが、回転により、落下した際に生ずる衝撃、摩擦作用によって試料を均一化させ、効率よく粉碎します。

特長

1. 容器に合わせてローラー調整が可能

容器のセットが各サイズに対応できるよう、回転ローラー間の幅がハンドル操作で容易に調整できます。

2. 粉碎条件に適應した回転数

必要な回転数が得られる無段変速タイプ(SD/MD型)。SE&ME型は、ハンドル操作により、回転速度変更によるベルトかけ替えも簡単です。

3. 移動が簡単

キャスターにより、移動が楽に行なえます。



仕様

型式	容器サイズ(mm)×架数	回転数 r.p.m	ローラー間隔	タイマー	モーター	寸法(W×D×H)、重量	粉碎容器・ボール材質
TI-900SE	φ 90×3 φ 110×3	136-150-164/50Hz 138-152-166/60Hz	可変式 (ハンドル)	0-24hour	100V 1φ 100W	730×410×695mm 90kg	特殊鋼、ステンレス(304、440C)、 タングステンカーバイド、アルミナ、ジルコニア、炭化ケイ素、窒化ケイ素、樹脂
TI-900SD	φ 130×3 φ 160×2	15-150/50Hz 18-180/60Hz		0-60hour	200V 3φ 200W		
TI-900ME	φ 200×2 φ 250×1	187-210-233/50Hz 194-219-235/60Hz		0-24hour	200V 3φ 400W	830×510×695mm 95kg	
TI-900MD	φ 300×1 φ 360×1	28-280/50Hz 34-340/60Hz		0-60hour		830×510×640mm 110kg	

注) 本カタログ製品は性能・機能向上等の為、仕様及びデザインを予告なく変更することがあります。

製品の仕様・性能に関しまして、ご質問等ございましたらお気軽にお問合せ下さい。

(株)シー・エム・ティ TEL:0246-21-7766 FAX:0246-21-7177

URL:http://www.cmt-ltd.co.jp E-mail: info@cmt-ltd.co.jp

